

学習ユニット「19 チェーンメールはカット」

1. 指導対象

小学校高学年～高校1年生

2. 指導意図

携帯電話メールの普及でメールが連絡手段として、非常によく使われるようになりました。それに伴い、チェーンメールにより、多数のメールが出回り、そのメールをたくさん受け取った人は受信料を負担させられる自体が発生している。また、人の善意を悪用したもの、悪意はなく善意がチェーンメールを生むケースなどがあり、電子メールがデジタル情報という特性を持っていることを理解して、メールを使うことが必要である。

ここでは、善意を利用した「いたずらメール」をとりあげ、情報の転送に際して、どのように対処すればいいかを考えさせたい。

3. 指導目標

善意を悪用したいたずらもあることを知る。

電子メールはデジタル情報のため、コピーが容易なため、同じ内容のものがたくさんあふれる可能性があることを知る。

たとえ善意であっても偽の情報を提供すれば相手に迷惑をかけることとなることを知る。

のことをふまえ、入手した情報が正しいものかどうか確認する態度が大切であることに気づかせる。

4. 代表的な授業展開例（一斉授業の例）

教室での一斉授業形態で実施する場合、教師側には教材提示用の端末1台と、プロジェクターを用意し、生徒側にはグループごとに1台以上の端末があることが望ましい。

（1）コンピュータウイルスについての説明

- ・コンピュータウイルスを知らない生徒のために説明

（2）学習ユニットを第4画面まで表示して見せる。

<ここで考えさせる>

- ・メールを友達に転送して教えてあげるべきか？
<予想される反応>
- ・「転送してあげるべき」
- ・「リカさんが信用できる友達ならいい」
- ・「間違っているかもしれないので、転送するべきではない」

（3）パソコン教室内でメールを転送してみる。

パソコン教室内でメールを転送しあってみる。

あっという間に膨大な数のメールがとびかうことになることを実感する。

（4）学習ユニットの残りを見せる。

(注)電子メールを転送して、実際にチェーンメールを実感できるような準備をしておく。メールの内容が本当の内容であっても、転送する際に慎重にするべきことを理解させるようにする。

5. 学習課題に関する学習ユニット以外の問題事例

(実際に起こった事例や今後発生が予想される事例)

変なメールの最近のトピックス

<http://www.kumat.com/hennamail/topic.htm>

チェーンメールと善意の輪

<http://home.highway.ne.jp/flower/netiquette/column/chain.htm>

チェーンメールメッセ

<http://homepage1.nifty.com/boo9216/spam/mail/chain/>

6. 問題事例が発生した際の教師や保護者サイドの対処法，問題解決

チェーンメールが蔓延した場合は、メールを受信した人に迷惑がかからないように転送をしないように全体に注意を呼びかけるとよいでしょう。

7. 学習課題に関するFAQ

Q1. 輸血用血液の呼びかけや緊急事態が発生した際のボランティア募集などのメールを出したり、転送したりすることについての指導はどのようにしたらいいのでしょうか？

A1. 緊急にたくさんの人に知らせたい際にメールを利用することは非常に有効な手段ですが、チェーンメール化する可能性が高いため、転送期限を明記するなどの工夫が必要であることを指導すると良いと思われます。

また、そういったメールを受け取った際には、すでにたくさん出回っているかどうかを確認したり、チェーンメール化しそうでどうかを考えて慎重に対応するように指導しましょう。

8. 学習課題に関するリンク集

変なメールの最近のトピックス

<http://www.kumat.com/hennamail/topic.htm>

インターネットにおける苦情事例集 2-3 チェーンメール

http://www.telesa.or.jp/html/jirei/jirei_02_03.htm

チェーンメール(愛知県警察)

<http://www.pref.aichi.jp/police/taisaku/high-tech/chain.html>

インターネットホットライン連絡協議会

<http://www.iajapan.org/hotline/faq.html>

電腦ネット犯罪相談コーナー

<http://www.joho110.com/thtt.htm>